



## 「オーディオ&ホームシアター展」見聞記

村瀬 孝矢

### ●「音展」/オーディオ&ホームシアター展TOKYO

昨年から場所を電気の街「秋葉原」に移した「音展」が今年も11月中旬に開かれた。この街の特色を生かしオーディオファンやホームシアターファンに有益な情報発信を図ろうという心づもりである。なお名称が見直され「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO」というように、今回からAKIBAが外されTOKYOに変わったのが新しい。



会場は昨年と同じJR秋葉原駅を挟む2つのビルが使われた。東側で富士ソフトアキバプラザ、西側で秋葉原UDXビルを使用するのである。駅を出てから5分程度の移動距離なので地理的には申し分ない。会場の役割分担は大きく分けて富士ソフトアキバプラザで視聴会を、秋葉原UDXビルで展示会とイベントをという振り分けは前回と同じ。

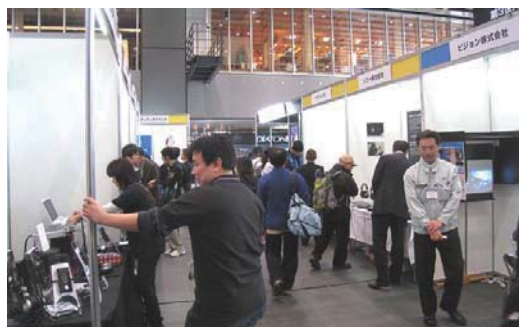
今回のテーマは「魅せます“良い音と映像”のある快適空間」。ここには快適なリビングで豊かな音と映像鑑賞をやって欲しいという意図が込められたようである。

### ●新会場も手慣れた感じで良い雰囲気が出ていた

まず訪れたのはUDXビル側の展示会などの会場だ。秋葉原駅の西口を出てUDXビルに向かうと、歓迎するのがエスカレーターの頭上に設けられた音展の看板。意外に目に付き開催中なのがすぐ分かって良かった。それに誘導されてエスカレーターで昇ると案内員がいてまごつくことなく会場まで行き着けた。その展示ブースはにわか仕立てだが2度目と

なったことから入り口のデザインから誘導方法、それに入場チェックまでスムーズで良い。もっとも「スイカ」の読み取りでOKという仕組みがなぜか分からないのにちょっと戸惑ったが。

この展示ブースはフェアの目玉でもあるが、A&Vの新製品から新開発もの、さらに3D製品の初公開があるなど関心の高さもあってか熱気もあり賑わっていた。ブース自体は小さいことからベンチャー企業が参加しやすいということもあり、昨年同様にオーディオマインドの高い企業が多く集まっていた。



UDX 2階 展示コーナー

まだ知られていないようなブランドから意欲的な試作モデルなどが並びオーディオファンを喜ばせるのである。こうした出展効果も大きいのか昨年より多い出展社(約55社)が参加した。

会場で目に付いたのは新しいオーディオジャンルを作るだろうと思われるテーマコーナー「第3世代オーディオ」での“ネットオーディオ”の集落と、視聴ルームの設置、ジャンク市、そして実車を利用したカーオーディオであった。ネットオーディオ系はいま関心度も高いので当然と言えばそうなのだが、中年以上の経験豊富なオーディオファンも関心を寄せることから、もう少し入門者向けの取り組みやすさをアピールする解説書を配るようにしても良かったと思えた。各社の取り組みが主で製品資料は用意されているものの肝心の初心者が始める方法などを載せた資料が不足と思えた。必要な環境と機器の設備から、こんな性能まで入手でき、このような音楽などの楽しみが広がります、というところが見えないのだ。



UDX 2階 テーマコーナー



UDX 2階 カーAV コーナー

視聴ルームの設置はこの展示ブースに参加した企業が優先して音出しできる専用ルームという設定のようだが、これは親切的な試みと思う。各ブースで勝手に音出しして騒音をまき散らすことが少なくできるほか、これらと思うモデルをしっかりと視聴できるのが好ましいからだ。

同じUDXビルの4階ではマルチスペースで「親子工作教室」、「音のサロン」、「こだわりCD試聴会」ほか、UDXシアターで「体験！ライブレコーディング（生録会）」が開かれた。

マルチスペースの「親子工作教室」はフェアの人気コーナーの1つ。今回はスピーカーボックス作りと手作りスピーカーアンプ作り、紙コップスピーカー作りの3つが行われ、有料と無料に分かれるが多くの参加者で賑わった。



親子工作教室

「音のサロン」はフリータイムで休息を兼ねた良質サウンドを聴く時間である。「こだわりCD試聴会」は第17回日本プロ音楽録音賞応募作品の試聴会と古典音楽観賞会の2プログラムで、約35名ほどの椅子席でじっくり鑑賞できる時間なので楽しい催しだった。ここでオーディオファンが待望する良質なCDソース情報が得られる。



こだわりCD試聴会

生録会はフェアの人気イベントだが残念ながら開催日は1日、2回開催だけ、それに録音席48名と少



なく、オーディオファンへの浸透と言う面では課題を残している。ポータブルPCMレコーダーの高性能ぶりから生まれた録音会だが、少なくとも3日間を通したイベントにならないかと思う。予備知識を持たずに、当日の生録会に参加しようと出かけてみたら今日はやってない日だったでは機会の逃すのだから。なお演奏者は Checkmate Jazz Orchestra である。



生録会

富士ソフトアキバプラザの5F、6Fには主にオーディオルーム主体の試聴ルームが集まった。それに5Fのアキバホールでは協会主催の各セミナーと出版社セミナーが開かれ、6Fのセミナールームでは出展社セミナーが行われた。各セミナーでは次世代オーディオからデジタルホームシアター、サラウンドサウンド、生録セミナーとじっくり聴講したいというファンが集まって満席となり熱心に耳を傾けていた。本格的なホール環境なので良い音で鑑賞できることや、優れたサラウンド再生が可能なことなどが人気を集める要素でもある。



協会主催セミナー

出展社&出版社セミナーとも熱のこもった内容で時間をやりくりしてでも聴講したいものが多かったようだ。こうしたことを振り返ると、前回もそうだったが協会の考えとして「音展」のウエイトをセミナーに置こうと言う意図が伺えるように思えた。



出展社セミナー

オーディオ&ホームシアタールームは各社が用意する音出しの部屋である。各部屋は隔離されたところなので音出しには好条件である。もっとも前回もそうだが小さな部屋を利用したところもあり、

ここがいつも課題を残すのだ。出入り自由とは言ってもドアは1つであり、中は数人で一杯と、来場者に等しく音を聴いてもらいたいという出展側の要望に応えられないからである。会場の作りが小会議室というものなので仕方のないところもあるが難しさを残している。

対する他の視聴室はかなり広いため条件は良い。それに主要なところは整理券方式を採用とスムーズにデモが行われ参加者にも好評である。特にここでは本格的なホームシアターからハイクラスオーディオのデモが行われたこともありこれを目当てに来場する人も多い。そのため先に整理券を入手してから他の展示を見に行くという方もおられるほどだ。なお、富士ソフトビル側の出展社数は約19社ほどであった。

●良好な視聴室にホームシアターの取り組み

これら視聴室関連は丁寧にオーディオ機器の音を聴き比べて欲しいメーカーが出展している。展示会場に出展せずにこちらに絞って参加するメーカーも多いようだ。狙いは音は聴いてもらわないと何も生み出さないというところにあるのだろう。今回は新たに参加したブランドもあり、しかも一部は紹介した機器の無料モニターで貸し出しというシステムを用意したところもあるなど、熱意のある取り組みが分かることも多かった。視聴室で聴くだけでなく我が家で聴けるのだからアイデアものかと思う。



Y's EPOCH 試聴室

ホームシアター関連も3Dで話題が持ち上がっていることを反映し多数の参加者を集めていた。パナ

ソニック、ソニーともにプラズマや液晶プロジェクターを使用した3D映像デモに、3D映画ソフトを使用した積極的な体験会を行う。家に手軽に持ち込めるシステムとは言え安易に導入してよいかどうか分からないことから、熱心なファンが押し掛け整理券もすぐにはけてしまったようである。



ソニー視聴室



パナソニック視聴室



TAD 試聴室



フォステクス試聴室

## ●まとめ

秋葉原開催に変わって2度目の「音展／オーディオ&ホームシアター展」である。会場の設営や運営に手慣れたところが感じられたのは良かったと思う。訪れる方も慣れたのだろうが、2会場に分かれたことへの不満もそれほど聞かなくなった。それに運営側も入場者管理に新しい仕組みを取り入れたことや、無駄な説明員の配置もなく、逆に親切さの見える積極的な誘導を行っている姿勢など感心できたことも多かった。そう言う意味ではこのまま続け経験を積むほどに洗練度が増えて行くのだろう。

なお今回の展示会場で気付いたのは建築&資材関係の出展が目についたことが上げられる。室内音響という大袈裟なことではなく、オーディオ&ホームシアター環境を整えるには建築資材から環境設計への取り組み、またリフォームなどに目を広げ、関心を寄せてもらおうという意図を込めて来場者に提案しているのが良かった。ハードを購入するだけでなくそれを有効に活用するには部屋の環境などに目を向けることも欠かせないと訴求していることに共感を覚える。

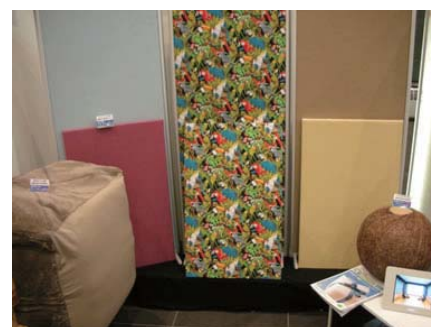
さて全体を眺め、もう一息と思われるのが外に向かったのアピールだ。惜しかったのはJRの電車から見えている秋葉原UDXビルなのに車内に向かったのPRがされていないことだ。車内の人に向かって発信する電光板や垂れ幕などを窓に掲げても良かったのと思った。一日何万人と通過する乗客のすべてがオーディオファンでなくても、ここでオーディオ&ホームシアターの展示会をやっているのかと気が付かせるだけでも掛ける費用に対する見返りは大きいのではないのだろうかと思ったのである。



パイオニア&三井ホームリモデリング



シャープ&ダイワハウス工業



日本板硝子環境アメニティ